

# 第58期 事業報告書

自 平成22年4月1日

至 平成23年3月31日

大阪府医師協同組合

## 目 次

事業活動の概況に関する事項	・・・・・・・・・・	1～4 頁
運営組織の状況に関する事項	・・・・・・・・・・	4～6 頁
財 産 目 録	・・・・・・・・・・	7～8 頁
貸 借 対 照 表	・・・・・・・・・・	9 頁
損 益 計 算 書	・・・・・・・・・・	10～11 頁
剰 余 金 処 分	・・・・・・・・・・	12 頁
監 査 報 告 書	・・・・・・・・・・	14 頁
平成 23 年度 事業計画	・・・・・・・・・・	15～16 頁
平成 23 年度 収支予算	・・・・・・・・・・	17 頁

# 第58期 事業報告書

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

## 事業活動の概況に関する事項

民主党政権の迷走ぶりに怒りを乗り越して諦めに近い思いを抱いていたさ中、運命の3月11日を迎えました。戦後最大の地震と大津波、そして福島第1原子力発電所における、東京電力と政府の無策による放射性物質の拡散。東日本大震災の影響はあまりにも大きく、テレビに映し出される被災地の痛ましい惨状は、未だ私たちの脳裏から離れることはありません。

2万5千人に迫る同胞の死者・行方不明者の耐え難い数字を知った後では、どのようなご報告も空疎に響くかと思われそうですが、第58期の大阪府医師協同組合実績を、次のとおりご報告いたします。

### 1. 購買事業

厚労省の診療報酬電算化推進策であるレセコン購入助成金支給制度によるレセコン（ORCA）特需が前期で終了し、今期はフィルムレス化の潮流に乗って自動現像機からCRへの買換促進に取り組み、骨密度測定装置までその相乗効果が及びました。また、無利息分割払いが好評で医療機器購入につながりましたが、前期のレセコン販売実績には遠く及ばず販売価格の大幅な下落もあって、売上高は前期比80.8%に止まりました。カタログ通販では、新型インフルエンザ流行による関連商品（検査キット・マスク等）が各医院の手持ち在庫となり注文が激減しました。その他の医療用品は前期並みを維持しました。医師協カード事業では、百貨店の売上減少や消費抑制による飲食関係の売上げ不振により前期比98.4%に止まりました。しかし、医師協カードの新たな拡大策として、平成23年2月から京都保事協、滋賀医協、和歌山医協、岐阜医協の4医協との提携事業がスタートしました。今後提携医協各地区の優良加盟店を増やし、カード利用の特典を拡充して利便性の向上を図ってまいります。

また、家庭用品では白洋舎クリーニングサービス、事務機の売上が微増ながら前期を上回りましたが、書籍購入システム「ナレッジワーカー」の売上が、システム移行時のトラブルにより減少したため、家庭用品収益は前期比94.3%となりました。

取扱総額 27億3,049万円

1) 医療用品	11億7,129万円
2) 家庭用品	4億9,567万円
3) 医師協カード	10億6,353万円

### 2. 保険事業

引き続きデフレの進行と雇用情勢の悪化、将来不安による消費抑制などの逆風の中にあって、保険業界では前年度実績を僅かに超える状況となっています。このような状況の中で当組合の生命保険事業は、団体扱いでは解約等の脱退件数が新規件数を上回り、保険料単価の違いも相俟って手数料が減少し

ました。しかし、この状況は国内系大手生保に顕著であり、損保系・外資系生保では新規件数が上回っており減少幅は縮小しています。また、継続して行ってまいりました生命保険見直し提案が奏効して個人生命保険が進展し、生命保険収益は前期比 102.1%と増収しました。一方損害保険事業では、主力の団体所得補償保険で新規開業医等の先生の新規加入に取り組みましたがご高齢や引退等による解約からほぼ同件数となり、保険料単価の違いにより手数料が減少しました。火災保険・自動車保険見積もりキャンペーンを適宜行い、先生方からのご支援を得て、火災保険は前期比 104.0%、自動車保険は 103.0%と増収しましたが、損害保険収益は前期比 99.2%となりました。これにより生損保あわせた保険事業収益では前期比 100.1%と前期の実績を僅かに超える結果となりました。

手数料総額 13 億 1,767 万円

1) 生命 保 険 3 億 8,268 万円

2) 損 害 保 険 8 億 7,441 万円

3) 共 済 事 業 6,058 万円

(共済事業は、労働保険及び小規模企業共済制度の合計)

### 3. 教育情報等提供事業

組合機関誌「医師協 Times」では、前期は特に特集ページの内容を充実させました。具体的には、取り上げるテーマごとに大学教授など斯界のスペシャリストにインタビュー及び監修を依頼し、最新の情報提供を行いました。また、「医師協 Times 川柳」や「勤務医リレーエッセイ」など、組合員・賛助会員にご参加いただけるコーナーを設けました。また併せて、購買情報誌、保険情報誌を発行し組合事業に関する最新の情報をお届けしてまいりました。

9 月には創立 57 周年記念文化講演会(講師：井沢元彦氏)を開催し、170 名のご参加をいただきました。その他、年間を通じて以下のとおり各種セミナー、文化教室を開催しました。その結果、費用として合計 8,080 万円を支出しました。

① 文化講演会(三団体共催)	1 回	参加者	116 名
② 記念文化講演会	1 回	〃	161 名
③ 医療セミナー	1 回	〃	74 名
④ 心エコーセミナー	1 回	〃	80 名
⑤ 腹部エコーセミナー	1 回	〃	81 名
⑥ 医療機器展示会	4 回	〃	104 名
⑦ ORCA 体験会	5 回	〃	69 名
⑧ 腹部エコー実技講習会	7 回	〃	33 名
⑨ 頰動脈エコー実技講習会	1 回	〃	24 名
⑩ 年度末医療機器展示会	2 回	〃	37 名
⑪ 労務セミナー	1 回	〃	33 名
⑫ 個別労務相談会	15 回	〃	15 名
⑬ 奥様医業経営塾	42 回	〃	152 名
⑭ ドクター医業経営塾	2 回	〃	41 名

⑮住宅フェア	4 回	参加者	113 名
⑯文化教室			
・セルフメイクレッスン	11 回	参加者	386 名
・ボディ&ゴルフ	11 回	〃	204 名
・純銀クロッシェ講座	12 回	〃	92 名
・ヨガ講座	7 回	〃	100 名
・セルフアロマ講座	9 回	〃	94 名
・詩書画教室	10 回	〃	102 名
・エッグアート教室	10 回	〃	56 名
・日本文学講座	9 回	〃	99 名
⑰ OMC 福利厚生倶楽部		利用者	3,488 名
⑱ ドクターズツアー(海外)	7 コース	参加者	48 名
〃 (国内)	45 コース	〃	437 名
⑲ 観 劇 (大阪松竹座)	1 回	〃	957 名
		総参加者数	7,196 名

#### 4. 共同施設事業

本部ビル貸会議室は、社団法人大阪府医師会をはじめ郡市区等医師会、各単科医会を中心に研修会や講演会等にご利用いただき、今期は約 5,000 名の来場者がありました。別館及び東館につきましては、医界関係 10 団体にご使用いただいております。また、本部ビル南側駐車場を、大阪府医師会や当組合へ来訪される医師会員にご利用いただいております。

#### 5. 庶務事項等その他

先生、ご家族を対象に、日本文学講座等の文化教室を開催しました。また、文化講演会や各種セミナー・展示会を開催し多くの先生方にご参加いただきました。

##### 平成 22 年

- 4 月 1 日 医師協 Times に「勤務医リレーエッセイ」の掲載を開始
- 4 月 15 日 平成 22 年 3 月 31 日付出資口数及び払込済出資総額の本部登記完了
- 4 月 20 日 平成 21 年度決算に関し公認会計士による会計調査を受ける
- 5 月 27 日 第 57 期通常総代会を開催
- 6 月 1 日 クールビズ実施
- 6 月 1 日 平成 21 年度決算関係書類を大阪府庁に届出
- 6 月 13 日 第 16 回住宅フェアを開催
- 9 月 4 日 秋の感謝キャンペーン「医療機器展示会」を開催  
同時開催 文化講演会  
「幕末の群像、維新の志士たち」(講師 井沢元彦氏)
- 9 月 5 日 秋の感謝キャンペーン「エコー講演会」を開催  
「ターゲット心エコー」(講師 川崎俊博氏)  
「急性腹症の超音波診断」(講師 山田博康氏)
- 9 月 8 日 タイ式ヨガ教室を開講
- 11 月 17 日 第 17 回住宅フェアを開催

- 12月 1日 医師協 Times に「医師協 Times 川柳」の掲載を開始
- 12月 8日 社団法人 大阪府医師会へ 3,500 万円を寄付
- 12月 24日 ウォームビズ実施

#### 平成 23 年

- 1月 4日 第 14 回初春大歌舞伎大阪松竹座貸切公演を実施
- 1月 25日 日本文学講座「藤原道長時代と源氏物語」を開講
- 1月 29日 平成 22 年度文化講演会を開催（大阪府医師会、大阪府医師信用組合との共催）演題「私の大好きなニッポン」（講師 ダニエル・カール氏）
- 2月 11日 組合員 45 名へ長寿祝品を贈呈
- 2月 17日 年度末特別企画「医療機器 機器別展示会」を開催
- 3月 17日 読売新聞社を通じ東日本大震災救援金として 1,000 万円を寄付
- 3月 30日 近畿医療協同組合連合会を通じ日本赤十字社へ義援金 10 万円を寄付

#### 6. 事業年度の財産及び損益の状況 (単位 千円)

項 目	第 57 期	第 56 期	第 55 期
資 産 合 計	14,645,308	14,287,325	14,243,592
純 資 産 合 計	11,810,540	11,409,683	11,159,814
事業収益合計	1,758,045	1,738,885	1,706,527
当期純利益金額	584,509	457,425	688,226

### 運営組織の状況に関する事項

#### 1. 平成 22 年度における総代会の開催状況

##### (1) 第 57 期通常総代会

開 催 日 時	平成 22 年 5 月 27 日 (水) 午後 2 時		
出 席 総 代	102 名 内訳	本人出席 35 名 書面出席 67 名 代理出席 0 名	
会議の目的たる事項	第1号議案	平成21年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案承認の件	
	第2号議案	平成22年度事業計画案、収支予算案の承認並びに役員報酬決定の件	
	第3号議案	借入金額の最高限度を5億円(前期と同額)とする件	
	第4号議案	一組合員に対する貸付又は一組合員のためにする債務保証金額の最高限度を2千万円(前期と同額)とする件	
	第5号議案	理事全員任期満了につき改選の件	
	第6号議案	監事全員任期満了につき改選の件	
	第7号議案	役員退職慰労金支給の件	
		全議案可決	

## 2. 組合員数及び出資口数の増減

(出資1口の金額500円)

	前年度末	増 加	減 少	本年度末
組合員数	5,584名	208名	203名	5,589名
出資口数	102,246口	4,170口	3,797口	102,619口
出資総額	51,123,000円	2,085,000円	1,898,500円	51,309,500円

## 3. 役員に関する事項

### (1) 役員の名氏及び職制上の地位及び担当

役 職	氏 名	担 当 部 会
理 事 長	高尾 良昭	理事会長、常務会長、管理部会・営業部会
副理事長	小谷 泰	理事会・常務会・営業部会、管理部会長
副理事長	金沢 利定	理事会・常務会・管理部会、営業部会長
専務理事	服部 吉幸	理事会・常務会・管理部会・営業部会
常務理事	上田 晏弘	理事会・常務会・管理部会・営業部会
理 事	上田真喜子	理事会・管理部会
理 事	長田 明	理事会・営業部会
理 事	栗山 隆信	理事会・管理部会 近畿医療協同組合連合会理事
理 事	田中 孝二	理事会・管理部会
理 事	古林 光一	理事会・営業部会
理 事	森口 英世	理事会・営業部会
理 事	安田 正幸	理事会・管理部会 大阪府医師会厚生福利委員会委員
理 事	和田 尋二	理事会・営業部会
監 事	朝日 輝男	理事会
監 事	今岡 真義	理事会
監 事	玉井 桂	理事会

(理事、監事は50音順)

#### 4. 職員の状況及び業務運営組織図

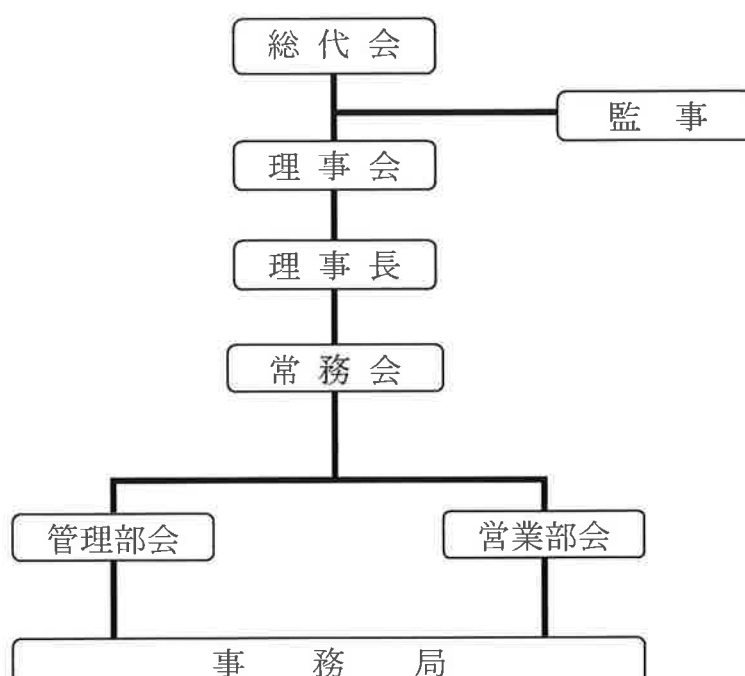
##### (1) 職員の状況

	前 期 末	当期増加	当期減少	当 期 末
人 数	54 人	0 人	3 人	51 人

※嘱託 5 人、アルバイト 1 人を含む

※嘱託 6 人、アルバイト 1 人を含む

##### (2) 組織図



#### 5. 施設の設置状況

##### (1) 主たる事務所

施設の名称	施設の概要	所在地
本 部	鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート 8 階建	大阪市中央区上本町西 3 丁目 1 番 5 号

##### (2) 従たる事務所

施設の名称	施設の概要	所在地
別 館	鉄筋コンクリート 6 階建	大阪市天王寺区上本町 2 丁目 1 番 20 号
南部出張所	堺市医師会館 1F	堺市堺区甲斐町東 3 丁 2 番 26 号

# 財 産 目 録

(平成23年3月31日)

(単位 千円)

一 資 産 の 部			
<b>I.流動資産</b>			
	1.現 金		4,624
	2.当 座 預 金	2 口座	4,496
	3.普 通 預 金	29 口座	4,948,661
	4.定 期 預 金	1 口座	329,850
	5.売 掛 金		283,826
	6.有 価 証 券		6,304,642
		短期有価証券	1,978,105
		一般社債	499,900
		株式	160,869
		その他有価証券	3,665,767
	7.商 品	カルテ・レセプト用紙、他	18,068
	8.貯 蔵 品	パンフレット用紙、他	8,375
	9.損害保険未収入金	損害保険未収手数料	51,224
	10.その他未収入金	有価証券償還未収入金、他	53,163
	11.立 替 金	DM 費用代金等の業者立替分	14,621
	12.前 払 費 用	職員通勤定期代	5,576
	13.貸 付 金	設備ローン	44
	14.貸 倒 引 当 金		▲ 2,598
	<b>流動資産計</b>		<b>12,024,579</b>
<b>II.固定資産</b>			
<b>i.有形固定資産</b>			
	1.建 物	取得価額 償却累計	848,453
		本部 683,391 78,190	
		別館 274,859 163,426	
		東館 137,814 5,994	
	2.建 物 付 属 設 備	本部空調設備等 43 点	109,810
	3.車 輜	社有車 10 台	1,930
	4.器 具 備 品	OA 機器等 91 点	195,141
	5.土 地	取得金額	925,402
		本 部 337,930	
		別 館 51,840	
		東 館 224,075	
		駐 車 場 311,556	
	<b>有形固定資産計</b>		<b>2,080,739</b>

ii.無形固定資産			
	1.電話加入権	30本	2,364
	2.ソフトウェア	経理パッケージソフト等34点	35,791
<b>無形固定資産計</b>			<b>38,155</b>
iii.外部出資その他の資産			
	1.外部出資金	全国医師協同組合連合会、他	5,994
	2.長期保有有価証券		800,229
		一般社債 600,000	
		(株)商工組合中央金庫 41	
		その他有価証券 200,188	
	3.差入保証金	南部出張所借室保証金、他	10,086
	4.生命保険積立金		13,283
<b>外部出資その他の資産計</b>			<b>829,593</b>
<b>固定資産計</b>			<b>2,948,488</b>
<b>資産合計</b>			<b>14,973,067</b>

## 二 負 債 の 部

I.流動負債			
	1.買掛金		233,261
	2.未払金	DM費用代金等	38,952
	3.生命保険料預り金		16,993
	4.損害保険料預り金		268,243
	5.医師賠償預り金		1,614,314
	6.別途預り金	職員の源泉所得税、住民税、他	11,230
	7.火災共済預り金		65
	8.小規模共済預り金		5,044
	9.未払法人税等		200,914
	10.未払消費税等		15,165
	11.賞与引当金		20,104
<b>流動負債計</b>			<b>2,424,287</b>
II.固定負債			
	1.修繕引当金		48,860
	2.退職給与引当金	職員44名の3月末要支給額	346,330
	3.役員退職慰労引当金	役員16名の3月末要支給額	7,100
<b>固定負債計</b>			<b>402,290</b>
<b>負債合計</b>			<b>2,826,577</b>

## 三 正 味 資 産 の 部

<b>正味資産</b>	<b>12,146,489</b>
-------------	-------------------

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸 借 対 照 表

(平成23年3月31日)

(単位 千円)

(一 資 産 の 部)		(二 負 債 の 部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I. 流動資産</b>		<b>I. 流動負債</b>	
1. 現 金	4,624	1. 買 掛 金	233,261
2. 当 座 預 金	4,496	2. 未 払 金	38,952
3. 普 通 預 金	4,948,661	3. 生命保険料預り金	16,993
4. 定 期 預 金	329,850	4. 損害保険料預り金	268,243
5. 売 掛 金	283,826	5. 医師賠償預り金	1,614,314
6. 有 価 証 券	6,304,642	6. 別 途 預 り 金	11,230
7. 商 品	18,068	7. 火災共済預り金	65
8. 貯 蔵 品	8,375	8. 小規模共済預り金	5,044
9. 損害保険未収入金	51,224	9. 未払法人税等	200,914
10. その他未収入金	53,163	10. 未払消費税等	15,165
11. 立 替 金	14,621	11. 賞与引当金	20,104
12. 前 払 費 用	5,576	<b>流動負債計</b>	<b>2,424,287</b>
13. 貸 付 金	44	<b>II. 固定負債</b>	
14. 貸倒引当金	▲2,598	1. 修繕引当金	48,860
<b>流動資産計</b>	<b>12,024,579</b>	2. 退職給与引当金	346,330
<b>II. 固定資産</b>		3. 役員退職慰労引当金	7,100
<b>i. 有形固定資産</b>		<b>固定負債計</b>	<b>402,290</b>
1. 建 物	848,453	<b>負債合計</b>	<b>2,826,577</b>
2. 建物付属設備	109,810	(三 純資産の部)	
3. 車 輜	1,930	<b>I. 組合員資本</b>	
4. 器具備品	195,141	i. 出 資 金	51,309
5. 土 地	925,402	<b>出資金計</b>	<b>51,309</b>
<b>有形固定資産計</b>	<b>2,080,739</b>	ii. 利益剰余金	
<b>ii. 無形固定資産</b>		1. 利益準備金	69,676
1. 電話加入権	2,364	2. その他利益剰余金	
2. ソフトウェア	35,791	(1)教育情報費用繰越金	2,117,614
<b>無形固定資産計</b>	<b>38,155</b>	(2)組合積立金	
<b>iii. 外部出資その他の資産</b>		①特別積立金	9,340,146
1. 外部出資金	5,994	(3)当期末処分剰余金	567,743
2. 長期保有有価証券	800,229	(当期純利益金額)	546,944
3. 差入保証金	10,086	(前期繰越剰余金)	20,799
4. 生命保険積立金	13,283	<b>利益剰余金計</b>	<b>12,095,180</b>
<b>外部出資その他の資産計</b>	<b>829,593</b>	<b>純資産合計</b>	<b>12,146,489</b>
<b>固定資産計</b>	<b>2,948,488</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>14,973,067</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>14,973,067</b>		

(注)1.記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2.有形固定資産減価償却累計額 582,924,850 円

3.建物・建物付属設備・車輜・器具備品の減価償却は定率法によります。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物については、定額法によっております。

4.修繕引当金は本部・別館建物の修繕費を引き当てております。

# 損益計算書

(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

(単位 千円)

二. 事業費用の部		一. 事業収益の部	
<b>I. 購買事業費用</b>		<b>I. 購買事業収益</b>	
1. 商品売上原価	2,541,648	1. 商品売上高	2,730,492
(1) 期首商品棚卸高	12,780		
(2) 当期商品仕入高	2,547,099	2. その他収益	
(3) 期末商品棚卸高	▲18,231	購買その他収入	115,591
2. 購買事業経費		小計	2,846,084
配賦経費	147,104	<b>II. 生命保険事業収益</b>	
小計	2,688,752	1. 生命保険事業収入	382,681
3. 購買事業利益	157,332	小計	382,681
<b>II. 生命保険事業費用</b>		<b>III. 損害保険事業収益</b>	
1. 生保事業経費		1. 損害保険事業収入	874,407
配賦経費	131,946	小計	874,407
小計	131,946	<b>IV. 小規模・労働保険事業収益</b>	
2. 生命保険事業利益	250,735	1. 小規模事業収入	4,207
<b>III. 損害保険事業費用</b>		2. 労働保険事業収入	56,375
1. 損害保険事業経費		小計	60,582
配賦費用	202,917	<b>V. 共同施設事業収益</b>	
小計	202,917	1. 共同施設事業収入	32,694
2. 損害保険事業利益	671,490	小計	32,694
<b>IV. 小規模・労働保険事業費用</b>		<b>VI. その他事業収益</b>	
1. 小規模・労働保険事業経費		1. 教育情報費用繰越金取崩	80,000
配賦費用	24,083	2. その他事業収入	23,517
小計	24,083	小計	103,517
2. 小規模・労働保険事業利益	36,499	<b>事業収益合計</b>	<b>4,299,967</b>
<b>V. 共同施設事業費用</b>		<b>四. 事業外収益の部</b>	
1. 共同施設事業費用		<b>VII. 事業外収益</b>	
配賦費用	36,985	1. 受取利息	1,734
小計	36,985	2. 有価証券利息等	138,097
2. 共同施設事業利益	▲4,290	3. 受取配当金	25,708
<b>VI. その他事業費用</b>		4. 雑収入	106,196
1. 教育情報事業費用等		<b>事業外収益合計</b>	<b>271,736</b>
配賦費用	5,602		
小計	5,602		
2. その他事業利益	97,915		
<b>事業費用合計</b>	<b>3,090,285</b>		
<b>事業総利益金額</b>	<b>1,209,682</b>		

三. 一般管理費の部			
VII. 一般管理費			
1. 人件費	551,449		
2. 業務費	484,748		
3. 諸税負担金	23,027		
4. 事業費へ配賦			
(1) 購買事業費に配賦	▲147,104		
(2) 生命保険事業費に配賦	▲131,946		
(3) 損害保険事業費に配賦	▲202,917		
(4) 小規模・労働保険事業費に配賦	▲24,083		
(5) 共同施設事業費に配賦	▲36,985		
(6) その他事業費に配賦	▲5,602	▲548,637	
一般管理費合計		510,587	
<b>事業利益金額</b>		<b>699,094</b>	
五. 事業外費用の部			
VIII. 事業外費用			
事業外費用合計		0	
<b>経常利益金額</b>		<b>970,831</b>	
六. 特別損失の部			
IX. 特別損失			
1. 有価証券評価損	231,292		
2. 固定資産除却損他	2,593		
特別損失合計		233,886	
<b>税引前当期純利益金額</b>		<b>736,944</b>	
X. 税等			
1. 法人税等	190,000		
税等合計		190,000	
<b>当期純利益金額</b>		<b>546,944</b>	

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 剰 余 金 処 分

(自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日)

(単位 円)

<b>I. 当期末処分剰余金</b>		
1. 当期純利益金額	546,944,204	
2. 前期繰越剰余金	20,799,361	
計		567,743,565
<b>II. 剰余金処分額</b>		
1. 教育情報費用繰越金		30,000,000
2. 組合積立金		
特別積立金		270,000,000
建設準備積立金		100,000,000
医師義援活動積立金		30,000,000
3. 出資配当金(年 10%)		5,033,504
4. 利用分量配当金		120,414,480
購買事業配当金	108,296,125	
その他事業配当金	12,118,355	
計		555,447,984
<b>III. 次期繰越剰余金</b>		12,295,581

前記のとおり報告いたします。

平成 23 年 4 月 22 日

## 大 阪 府 医 師 協 同 組 合

理 事 長	高 尾 良 昭
副 理 事 長	小 谷 泰
副 理 事 長	金 沢 利 定
専 務 理 事	服 部 吉 幸
常 務 理 事	上 田 晏 弘

(以下 50 音順)

理 事	上 田 真喜子
理 事	長 田 明
理 事	栗 山 隆 信
理 事	田 中 孝 二
理 事	古 林 光 一
理 事	森 口 英 世
理 事	安 田 正 幸
理 事	和 田 尋 二

# 監査報告書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、組合から受領した第58期財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び事業報告書を監査した。

## 1. 監査方法の概要

決算関係書類及び事業報告書の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、理事会議事録の閲覧、重要な事業の経過報告の聴取その他通常とるべき必要な方法を用いて調査した。

## 2. 監査結果の意見

- 1) 財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、組合の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- 2) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合している。
- 3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示している。

平成 23 年 4 月 21 日

大阪府医師協同組合

監事 朝 日 輝 男



監事 今 岡 真 義



監事 玉 井 桂



# 平成 23 年度 事業計画

( 自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日 )

東日本大震災は日本列島に甚大な爪痕を残しました。

被災地である東日本各県の復興はこれからといった状態であり、政府は早急に今後の地震・津波対策はもとより、国家再興のための具体的なプランを国民に提示すべきです。特に、安全神話が崩れた原子力発電は、福島第 1 原子力発電所の事後処理だけに止まらず、原発自体の安全対策をどうするのか、今後の原子力行政の見直しが迫られるところです。

こういった中であって、日本医師会、大阪府医師会等が行っている被災現場での医療救護活動は、被災地の皆さまを勇気づける必要不可欠なものです。今回の原発事故をとまなう自然災害は、複数県に及ぶ広域であるため、医療活動は長期に亘るものと思われまます。当組合は、このような被災地における医師会の医療救護活動に対しても、全面的に協力してまいり所存です。

ところで、今回の大震災で、わが国の政治・経済情勢は一気に優先度が変わってしまいました。しかし、少子高齢化と巨大な財政赤字の下で社会保障制度をどのように再建するのか、この問題は待ったなしです。また、国の「医療費抑制策」や「医療ツーリズム」の推進は、医療崩壊に繋がるものであり、政府は一刻も早く撤回すべきです。

このような状況下であって、患者の受診控えはいっそう増えると予測されるため、医業経営は益々厳しくなると思われまます。こういった時こそ、組合役職員一同は、組合員からの信頼と支持を得るべく業務に邁進しなければなりません。平成 23 年度も引き続き、組合員各位の心強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、事業目標を次のとおりご報告いたします。

## 1. 購買事業

東日本大震災により、日本国内は自粛モードからのスタートとなり、これまで以上の消費抑制に引きずられて経済停滞が予想されます。このような環境下において、当組合は将来の医療を見据えた医療機器展示会や先生のお役に立つセミナーを開催し、ご購入に際しては特別価格の設定や無利息分割払い、ご購入いただいた医療機器に機械保険を付帯するなど適切なアフターフォローを行い、多くの先生にご利用いただけるように努めてまいります。また、医院のリフォームや医院継承に際して最適なご提案を行いお役に立てるよう努めてまいります。医療用品カタログ通販では、より一層幅広い商品を取り揃えて即日配送できるよう努力するとともに、インターネット利用の場合に特典を用意するなど他の通販との差別化に取り組んでまいります。

医師協カード事業では、昨年提携した 4 医協との連携を強化して、多くの有名店舗を加盟店化するなどしてご利用特典の向上に努めてまいります。さらに他医協との提携を進め、広域でご利用いただける医師協カードとしてその拡大に取り組んでまいります。家庭用品では、主力のナレッジワーカー、白洋舎の利用促進に努めるとともに、新規取扱商品を開拓して先生とそのご家族の皆様の暮らしにお役に立てるよう取り組んでまいります。

取扱目標総額 28 億 7,092 万円

1) 医療用品 12 億 3,400 万円

2)家庭用品	5億1,350万円
3)医師協カード	11億2,342万円

## 2. 保険事業

このたびの激甚災害に対して、保険業界では全社を挙げて迅速な保険金支払いに取り組んでおり、損保業界では地震保険金が最大40～50万件で1兆円近く、生保業界では全体で2,000億円前後の支払総額が見込まれています。当組合では、万一の災害に備えて、定期刊行物やDMにより地震などの天災危険も含めた幅広い補償見直しのご提案を行い、個別に訪問してお一人おひとりに適切な保険提案を行ってまいります。さらにメールマガジン等の新たな情報提供ルートを通じて加入しやすい保険の案内に努めてまいります。生命保険事業では、保険見直しの一助として証券ホルダーのご提供や各種セミナーを開催するなど、サービスの充実に努めます。また、幹事交代した福祉積立制度の利便性を高めて先生方の貯蓄・年金制度の充実に努めてまいります。損害保険事業では、保険会社との連携を強化して団体保険制度の内容を充実し、付加価値の高い商品・サービスをご提供していくとともに、火災保険・自動車保険を含めた安心でムダのない保険設計を行い、最適なお提案ができるよう努めてまいります。

手数料目標総額 13億4,239万円

1)生命保険	4億549万円
2)損害保険	8億7,551万円
3)共済事業	6,139万円

(共済事業は、労働保険及び小規模企業共済制度の合計)

## 3. 情報等提供事業

平成23年度は、次の課題を最優先に取り組んでまいります。

- ① 組合機関誌「医師協 Times」では、昨年度に引き続き読者アンケートを実施し、ニーズに合った的確な情報提供を行ってまいります。
- ② 文化教室は、本年度も多くの先生・ご家族にご参加をいただけるよう新教室を開講し充実させてまいります。
- ③ 本年度も著名人を招聘し文化講演会を企画いたします。また、組合員の医業に貢献できる医療機器実技講習会や医療セミナーなどを開催してまいります。
- ④ 組合ホームページは、先生方へのタイムリーな情報発信の場として適宜更新を行うとともに、先生方の利便性が高まるよう内容の充実に努めてまいります。

## 4. 共同施設事業

本部ビル会議室、大ホールのご利用を促進するため、組合員が所属する関係団体に積極的にPRしてまいります。

# 平成 23 年度 収支予算

( 自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日 )

(単位 千円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
役員報酬 (理 事)	44,040	購 買 事 業 収 益	305,540
役員報酬 (監 事)	7,200	生 命 保 険 事 業 収 益	405,492
役 員 賞 与	18,000	損 害 保 険 事 業 収 益	875,513
給 料 ・ 諸 手 当	383,200	小 規 模 ・ 労 働 保 険 事 業 収 益	61,392
福 利 厚 生 費	70,500	共 同 施 設 事 業 収 益	29,338
通 信 費	67,000	そ の 他 事 業 収 益	15,700
旅 費 交 通 費	6,500	<b>事 業 収 益 計</b>	<b>1,692,975</b>
公 租 公 課	18,500	受 取 利 息	1,603
帳 簿 印 刷 費	102,500	有 価 証 券 利 息 等	120,000
寄 付 金	35,000	受 取 配 当 金	1,000
減 価 償 却 費	68,500	雑 収 入	37,500
その他一般管理費	173,701	<b>事 業 外 収 益 計</b>	<b>160,103</b>
<b>一 般 管 理 費 計</b>	<b>994,641</b>		
組 合 退 会 慰 労 金	15,000		
賛 助 会 員 還 元 金	20,000		
〇 M C 感 謝 会 等	5,460		
<b>組 合 員 等 還 元 金 計</b>	<b>40,460</b>		
予 備 費	3,000		
<b>計</b>	<b>1,038,101</b>	<b>計</b>	<b>1,853,078</b>
差 引 利 益	814,977		
<b>合 計</b>	<b>1,853,078</b>	<b>合 計</b>	<b>1,853,078</b>